

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)						区分・【新主題】 / (分野)		授業形式					
M313G101		アントレプレナーシップ (Entrepreneurship)						未来創造キャリア・デザイン科目群							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	1	医学部先進医療科学科	後期	月5	日本語				オムニバス					
担当教員	氏名 西園 晃、石崎 敏理														
	E-mail 西園 ; a24zono@oita-u.ac.jp、 石崎 ; t-ishizaki@oita-u.ac.jp 内線 西園 ; 5710、 石崎 ; 5720														
授業の概要	様々な分野の第一線で活躍される起業家を招き、セミナーを開催する。招聘の対象となるゲスト講師の折衝、および、セミナーの内容策定は、担当講師のガイダンスのもと、学生有志が行う。講演参加者一人ひとりが積極的に議論に参加してインタラクティブなセミナーを実施する。起業にまつわるリアルなエピソードを当事者から直接聞くことによって、広義のアントレプレナーシップ・マインドにおける意識変容を喚起することを学修目標とする。講義の後半では、ワークショップやグループワーク等を組み合わせた学生参加型の体験的な学修も行い、学生自身で意見をまとめてプレゼンテーションにて具象化する。														
具体的な到達目標								DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 アントレプレナーに必要な資質を説明できる									○		○				
目標2 エティカルビジネスの重要な要素を説明できる									○	○		○			
目標3 実践時に必要なリスクを想定し、その予防策を提案できる									○		○		○	○	
目標4 イノベーションを引き起こすためのリーダーシップを適応できる									○		○		○	○	
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)									1	3	3	1	1	1	
授業の内容															
1 総論 - 1：アントレプレナーシップとは？（イノベーションとアントレプレナーシップ）															
2 総論 - 2：アントレプレナーが与える社会への影響、日本企業の動向とこれからの社会に求められること															
3 グループワーク②（バイオ・化学）：ゲストスピーカーⅡによる講義															
4 グループワーク②（バイオ・化学）：グループディスカッション・プレゼンテーション・総括															
5 グループワーク③（バイオ・化学）：ゲストスピーカーⅢによる講義															
6 グループワーク③（バイオ・化学）：グループディスカッション・プレゼンテーション・総括															
7 グループワーク①（環境・SDGs）：ゲストスピーカーⅡによる講義															
8 グループワーク①（環境・SDGs）：グループディスカッション															
9 グループワーク①（環境・SDGs）：プレゼンテーション・総括															
10 グループワーク④（AI）：ゲストスピーカーⅣによる講義															
11 グループワーク④（AI）：グループディスカッション															
12 グループワーク④（AI）：プレゼンテーション・総括															
13 グループワーク⑤（経済）：ゲストスピーカーⅤによる講義															
14 グループワーク⑤（経済）：グループディスカッション															
15 グループワーク⑤（経済）：プレゼンテーション・総括															
ラーニングポイント	A:知識の定着・確認		B；授業中に学生に意見や説明を求め、フリーディスカッションの時間を設ける（発問）						工夫 その他の						
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向		○												
	D:知識の活用・創造														
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		講義内容を踏まえつつ、ブレインストーミングやプレゼン資料の作成（ 30 h）。												
	事後学修		講義内容を復習し、発表の準備をする（ 30 h）。												
	想定時間合計		60												
教科書	特に指定はしない。配布資料があれば利用する。														
参考書	参考書は指定しない。必要な場合は、授業時に指示する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート		70%	○	○	○	○						
	発表		30%			○	○						
注意事項	自分自身が起業、社内起業を行うという「仮定」に基づいて積極的に授業に取り組む。												
備考													
リンク													
	URL												
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	○												
教員以外で指導に関わる実務経験者	経営コンサルタント、企業経営者												